

令和5年度 部局経営目標

年度	令和5年度	作成日	令和5年4月1日
部局名	消防本部	部局長名	大美 勝
(1) 部局の役割・使命（ミッション）・経営方針			
<p>【No.11：住み続けられるまちづくりを】</p> <p>1. 消防施設の充実強化 消防施設等の充実強化を図ります。</p> <p>2. 消防体制の整備 火災・救急をはじめとする各種災害に迅速かつ的確に対応できる体制づくりを進めます。</p> <p>3. 予防・査察の実施 市民が安心して暮らせるまちづくりを目的に、予防・査察活動の実施に努めます。</p>			
(2) 事業成果目標			指標名及び目標値
<p>1-① 消防施設等の充実強化 ・蒜山分署庁舎建設に向けて、出動時間の短縮を図れるよう設計を進め、消防防災拠点施設としての機能充実を図っていきます。</p>			指標:出動時間(出動指令確受～出動まで)
			目標値:1分20秒
			(令和4年度実績値：1分23秒) (蒜山分署の値)
<p>2-① 消防力・防災力の強化 ・方面隊と協力し合同消防訓練を実施することによって連携を強化し、消防力・防災力の強化に努めます。</p>			指標:方面隊との合同訓練
			目標値:10回
			(令和4年度実績値：10回)
<p>2-② まちかど救急ステーション事業 ・現在、AEDを設置している185施設から同意を得て、まちかど救急ステーション事業に協力を得ているところであるが、更に2施設からの同意を目指します。</p>			指標:同意施設
			目標値:187施設
			(令和4年度実績値：185施設)

<p>2-③ 救命講習の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命率の向上を目指し、救命講習を開催することにより、一人でも多くの市民が応急手当を施せるよう普及推進を図ります。 ・救命にはバイスタンダーによる応急手当が必要不可欠であることから、目撃のある心原性心肺停止症例において一般市民等による心肺蘇生実施率が60%以上となるよう普及推進を図るため、M I T等のメディア媒体を活用するなど、適切な啓発を行います。 <p>【参考 60%（真庭消防署管内令和4年実績）、57.5%（全国令和3年実績）】</p>	<p>指標:①救命講習の回数 ②受講者数 ③心肺蘇生実施率</p> <p>目標値:①100回 ②2,000人③60%</p> <p>(令和4年度実績値: ①77回 ②1,962人 ③60%)</p>
<p>2-④ 市民が安心して暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくりを構築するため、自主防災組織連絡協議会の団体を対象に、関係団体と連携を取り、防災に関する訓練会等を実施します。 ・市民との交流事業として「消防士の台所」を実施し、身近な消防署という理解を得るための取り組みを行います。 	<p>指標:①訓練会等の回数 ②受講者数 ③消防を身近に感じた割合</p> <p>目標:①15回 ②260人 ③94%</p> <p>(令和4年度実績値: ①11回 ②234人 ③92%)</p>
<p>3-① 防火・減災に対する普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災件数の減少を目指し、広報事業・防火指導を積極的に行います。 ・幼少期からの防災教育は、自らの身の安全を確保できるだけでなく、将来の地域防災を担う人材育成にも効果的であることから、こども消防士育成プロジェクト（園児）及び子供防火管理者講習会（児童）を各こども園、小学校にて開催し、消防防災活動への知識と理解を育む取組を行います。 	<p>指標:①火災件数 ②広報事業開催数 ③実施回数</p> <p>目標値:①29件未満・過去平均 ②3回 ③12回</p> <p>指標変更 (令和4年度実績値: ①21件 ②3回 ③12回)</p>